

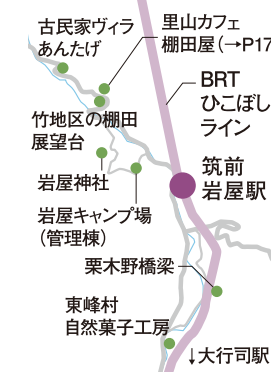
7 BRTひこぼしラインの筑前岩屋駅～大行司駅間には3つのアーチ橋(めがね橋)がある。写真は栗木野橋梁。レールは撤去されBRT専用道に。8 参道周辺にはたくさんの石像や地蔵が、9 岩屋キャンプ場のフリーサイト。野外ステージや炊事場に囲まれたコンパクトな広場が家族連れに人気。10 まさに巨岩と社が一体化したような岩屋神社の本殿。空から降ってきたと伝えられる「宝珠石(ほうしゅせき)」をご神体とする。



竹地区の棚田、めがね橋…
里山の原風景に出会う。



1 収穫が終わった区画から秋色に彩りを変えていく竹地区の棚田。400枚ほどの田んぼが、標高差160mの急斜面に連なる。室町時代から築かれ始めたという。2 地元有志が企画した、田んぼの中で1泊する棚田キャンプ。3 棚田ライトアップは例年10月下旬～11月初旬に実施。



小石原エリアとは雰囲気少し異なる宝珠山エリア。鉄道遺産とも言えるめがね橋をはじめ、日本棚田百選に選ばれた竹地区の棚田、神秘的な岩屋神社など、映画の一場面のような風景に出会える。季節によって色合いを変える竹地区の棚田は、高取焼と同じ400年近い歴史を持つ。遺跡のような石積みも面白いが、なにより、田んぼの中でキャンプをしたり、千枚田を見下ろす宿やカフェがあったりと楽しみ方が幾通りもある、懐の深い棚田なのだ。そして筑前岩屋駅の駅名にもなっている岩屋エリアは、奇岩地帯。険しい山間に社や石像が点在

BRT 筑前岩屋駅から徒歩約 15 分

東峰村自然菓子工房

地元出身のオーナーが村の特産品にと生み出したバウムクーヘンの店。棚田米の米粉を使った、しっとりもちもちの焼き菓子。卵、黒豆、ゆずなど常時3～4種類あり、1個1,404円。



☎0946-23-8808 ⑧東峰村大字宝珠山字古庄屋3100
⑨土曜の12:00～15:00 ⑩月曜～金曜、日曜
※金曜～日曜は「里山カフェ 棚田屋」(P17参照)でも販売。

BRT 筑前岩屋駅から徒歩約 20 分

岩屋神社、岩屋公園

岩屋神社の創建は西暦532年。1698年に建てられた本殿は国の重要文化財に指定されている。神社周辺が公園で、天然記念物の奇岩群や大イチョウなどが目を楽ませる。



☎0946-72-2312(東峰村ふるさと推進課)
⑧東峰村大字宝珠山字竹

BRT 筑前岩屋駅から徒歩約 15 分

岩屋キャンプ場

耶馬日田英彦山国定公園内にある人気のキャンプ場。高台の開けた場所がテントサイトになっている。キャンプ場を拠点に、棚田や岩屋神社へお散歩するのもおすすめ。



☎0946-23-8423(12:00～17:00) ⑧東峰村宝珠山4171 ⑨年始、不定休 ⑩フリーサイト1人550円+1張1,100円(電源付2,200円)、コテージ1泊16,500円～

★泊まるなら、こちら…★

古民家ヴィラ あんたげ

棚田に立つ築132年の古民家をリノベーションした宿泊施設。1日1組(定員8人)限定。厨房付きで自炊もできるが、予約すれば里山会席や棚田米ごはんを味わえる。棚田と一体化したような庭には月見台も。

☎0946-23-8423(岩屋キャンプ場、12:00～17:00)
⑧東峰村大字宝珠山5430
⑩1泊1棟33,000円+1人5,500円(小学生2,750円)
アクセス/BRT 筑前岩屋駅からタクシー約5分



4 宝珠山川沿いの棚田親水公園の建物を再活用した東峰村自然菓子工房。
5 専用オーブンでじっくり丁寧に焼き上げる。
6 定番は、卵・黒豆・ゆずの3種類。

し、その由緒は1500年前にさかのぼる。長らく、英彦山岳修行の重要な修行場でもあった。秋になると紅葉と奇岩の競演がさらに美しい景色を見せてくれる。こうした絶景に加えて最近、宝珠山で作られるあるお菓子も注目されている。棚田親水公園内の東峰村自然菓子工房が製造販売する米粉バウムクーヘンだ。竹地区の棚田で育ったお米が、切り株型の甘いお土産に変身するとは、これもまた、宝珠山の魅力的なワンスーンかもしれない。